

炉辺医話

医学用語の不思議

板橋中央総合病院血液浄化療法センター

阿岸鉄三

科学用語

一般には、医学は科学であるとされています。筆者は、最近では、医学は純粹に科学ではあり得ないという立場をとっていますが、医学が厳密に科学であり得るかどうかの議論は別の機会にするとして、今回は、医学を科学と認めた場合の用語、すなわち、医学用語について考えてみたいと思います。

医学が科学であるとすれば、医学界において医学について話し合うときに共通の意味をもった言語の存在が便利であり、必要であると、単純に考えられます。使用しているのが共通の言語、言葉でなければ、意味していることに差異が生まれ、誤解のもととなりかねません。そこで、医学界には、医学用語辞典、

さらに医学の分科会には、それぞれの分野で、用語辞典・用語集・用語解説集などが作られているのが実状であり、できるだけ、同じ分野で学術活動する人たちが共通の認識で仕事ができやすいようになっていると考えられます。しかし、分野によっては、いろいろの理由からそのようなものがないこともあります。用語集などがある場合、そこに並べられている言葉は、多くは、その言葉を絶対使わなければならないと強制する立場ではなく、使った方がいいよと勧める立場であることを表明しているようです。

用語の問題点

ときに問題になるのは、同じ用語が、近隣の異なる分野で別の意味をもっていたり、逆に同じ事象（ものごと）が別の用語で表されていたり、起きている事象の表現として適切でなかったりが起きることです。

いくつかの独断的に気になっている用語を

並べてみましょう。

自己血輸血：先にも触れたことがあります。輸血の輸は、輸入・輸注を意味していると考えられ、英語の transfusion の trans (= across 个体を越えて) に相当しますが、自己血輸血ではその意味は失われているというべきでしょう。

至適透析：日本では、至適透析が一般的ですが、それに相当する英語の用語は、adequate dialysis であると考えられ、それは至適ではなく、適切な・適正な透析を意味します。実際、現在の透析医療においては、至適透析は存在しないのに、用語だけが存在する訳です。

LDL (low-density lipoprotein) 吸着：たしかに、LDL 吸着除去により臨床症状の改善が得られることは多いのです。しかし、高 LDL 血症のない糖尿病性腎症由来透析患者における閉塞性動脈硬化症の症状改善に有効であることは、LDL 吸着では説明できません。用語が実態を表していないことになりましょう。

Endotoxin 吸着：Endotoxin 吸着においても、同じような状況があります。グラム陽性菌・白癬症感染においては、endotoxin は関係ないはずですが、しかし、グラム陰性桿菌感染が証明できないグラム陽性菌・白癬症感染症においても循環系機能の改善についての報告は多いのです。

集合的無意識：医学用語では、無意識は麻酔・脳外傷時などにおける意識のない状態を指しています。しかし、スイスの精神科医・心理学者ユングの著作についての日本語版の本を読んでいると集合的無意識という用語が使われています。端的にいえば、ヒトという集合には、普段は意識の表面にはでてこないが、潜在意識的に共通にもっているある種の認識といったようなものがあるということなのですが、無意識という用語が、有るということと無いということの両方に使われています。慣れないうちは、感覚的に戸惑います。

倫理的：倫理的であるか、非倫理的であるか

の判断は、その個人の属する社会・時代などによって大いに異なります。移植用腎臓の売買は、米国、それに追従するわが国では、非倫理的であるとされ、禁止されています。しかし、インドでは生活のための売買は、社会が許容しているようで、インド人医師とそれに関する話をしてまったく、一種の後ろめたさのようなものは感じられません。

学会用語と健康保険用語：学会で使用される用語と健康保険用語と異なる場合もあります。自家採血は、健康保険では患者が治療を受けている医療施設内での（輸血用の）採血を意味していますが、自家は、通常、同一の個体・患者を指しているのです。血液浄化の領域では、保険用語で血漿成分分離器ですが、学会では、おおむね、血漿分画器です。

医学用語と一般社会

医療が一般社会からいろいろと関心を持たれるようになり、それはある意味では、むし

る歓迎すべきことですが、医療関係者が、それ以外の人と話すときに医学用語を使用し、それが理解できないとされ、ときに非難の的にされることがあります。医学用語だけで、一般人に説明することは、勿論、不適切ですが、医学用語でなければ簡潔・適切に表現できない状況もあることが考えられます。専門用語の使用を規制することは、ときに専門性のある科学であることを拒否・否定することがあると考えられます。

ニューサイエンスのグループの人によると、科学者とは、相当に研鑽を積んだ人たちが、ときには、そこに所属しない人たちが理解できない特別の言語を用いて自分たちの成果を披露し合う集団であり、そのような異なる言語をもつ集団がいくつもある、としています。そういえば、医学者も物理学者も科学者と自称しますが、お互いのいうことを理解できないことがしばしばあります。